



イフジ産業の鶏卵相場予想

2025年 2月 の鶏卵相場予想

310円

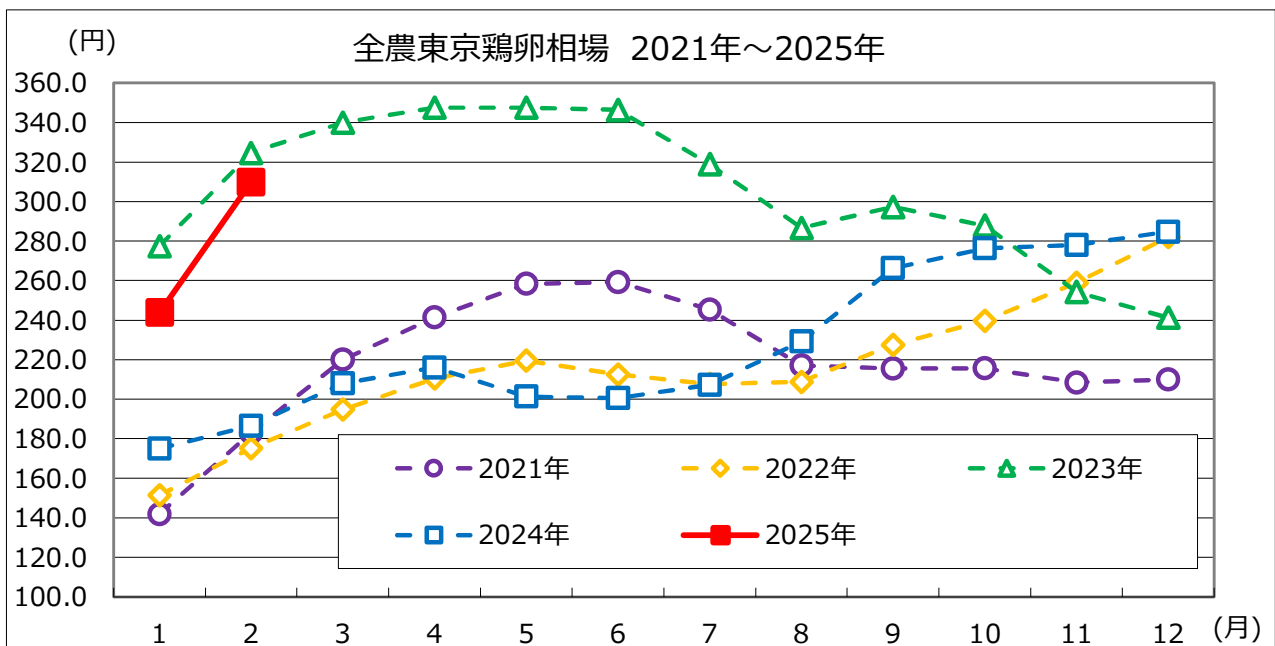
(全農東京相場LM加重平均)

1月の相場ですが、初値は前月最終値から62.5円値を下げた、Lサイズ220円・Mサイズ225円にてスタートしました。その後、1月15日、23日には両サイズ15円ずつ、1月17日、21日、24日には両サイズ10円ずつ上昇しました。(2025年1月27日時点のLM加重平均は282.5円)

供給面では、12月末の大規模な鳥インフルエンザの発生を皮切りに連日のように各地での発生が相次いでいます。1月27日時点の農林水産省による発生件数は43件(うち採卵鶏は34件)となっており、約815.6万羽(うち採卵鶏は約739.3万羽)が淘汰対象となっています。2022年度に発生した過去最大の鳥インフルエンザと比較しても1月の発生件数は大きく上回っており、供給量低下による問題が深刻化してきております。一方の需要面では、働き方改革による年始休業の量販店が多く年末の駆け込み需要があったようですが、年始からの勢いは落ち着いているようにみられます。また、業務筋では新年会やインバウンドの好調により比較的堅調に見受けられます。

さて、2月の相場予想ですが、供給面では鳥インフルエンザの影響で逼迫感が更に強まっていくと思われます。今期は餌付羽数の減少(1月~11月平均93.6%)に加え、鳥インフルエンザによる淘汰(全体の約6%)を含めると、単純計算で前年より約12.5%減少することとなります。鳥インフルエンザの季節はまだ続くため、その動向次第で環境は刻々と変化します。一方の需要面ですが、2月は恵方巻やバレンタイン商戦などの特需もあるため、加工用は一定の需要発生があると思われます。よって、2月も鶏卵相場は上伸していくものと思われます。月間LM加重平均は310円付近と予想いたします。

日々情勢が変化しているため、非常に予想が難しい状況です。「エッグショック」再来の恐れもあり不透明な状況が続きます。



※2025年1月の相場は1月27日までの平均値。2025年2月は予想値。

※予想は当社独自のものであり、あくまで予想です。

※この情報に関するお問い合わせ等はご遠慮ください。

Egg ×
Something =

「タマゴテック」でライフスタイルの殻を破る

